

裏磐梯だより



磐梯朝日国立公園

裏磐梯ビジターセンター



季節の一枚 ②9

「お立ち台からの小野川湖」

厳しさの増す季節。吐く息は白く、水道の水も凍ってしまいます。裏磐梯の冬は、容赦なくやってきます。寒さは、厳しさだけでなく、楽しみも与えてくれます。

今年一番の冷え込みを記録したこの日は、朝方にはダイヤモンドダストが見られます。また桧原湖では、結氷すると、ワカサギの穴釣りに湖上はにぎわいます。裏磐梯の冬の景色は、白と茶色がほとんどですが、空が見えるとその姿は一変します。

「お立ち台」と呼ばれる場所からの景色は、その様子がよくわかる場所の一つです。朝日の昇る明け方、穏やかな日差しの日中、日の沈む夕暮れ、月明かりの夜とそれぞれの景色は、しばし、寒さを忘れさせてくれます。

まだまだ、寒さは厳しいですが、厳しいからこそ裏磐梯の景色には楽しみがいっぱいです。

(撮影日 2014年1月15日)

20 年 月 日
来館記念スタンプをどうぞ

■ 裏磐梯の冬の楽しみ ■

裏磐梯の冬ならではの楽しみといえば、スキーやスノーボードがその代表格と言えるでしょう。競技人口は国内のピーク時で約1800万人。現在は両方合わせても約800万人と半減以下ではありますが、それでも代表格であることに変わりはありません。桧原湖や小野川湖でのワカサギ釣りも人気です。釣って楽しい、食べて美味しい、老若男女、世代を越えて楽しまれている裏磐梯を代表する冬の風物詩です。また、最近はスノーシューを履いて雪の中を歩くスノートレッキングを楽しむ方も増えており、裏磐梯でも五色沼自然探勝路や中瀬沼、レンゲ沼探勝路では天気の良い日にはたくさんの方が楽しんでいきます。

ではここでスノーシューについて少しお話したいと思います。スノーシューの歴史は古く、その原型は約6000年以上前(日本では縄文時代)の中央アジアで生まれたと言われています。その一部はヨーロッパに渡りスピードを追求したスキーへと進化し、また、シベリアを越え北米へと渡ったものは狩猟道具として進化しスノーシューへと繋がっていきます。このスノーシューがアメリカでレクリエーションの道具として使われるようになったのは健康志向が強くなる1980年代、フィットネスブーム以降です。非常に新しいスポーツだと言えるでしょう。



スノーストトレッキングの楽しさは新雪の上を爽快に歩くことだけではなく、ウサギやキツネ、テン、リスなどの動物の足跡を追いかける「アニマルトラッキング」、冬鳥たちを観察する「バードウォッチング」、イエローフォールなど冬にしか見られない自然の景色を満喫する「ネイチャーウォッチング」など。

冬のフィールドにはたくさんの「楽しみ」が隠れています。

皆さんもスノーシューを履いて白銀の世界をゆっくりと楽しんでみませんか？

■ 裏磐梯の色 ■ 裏磐梯でみられる色のお話です

今回ご紹介するのは「茶色」です。

一見地味で自然界に豊富にあるこの色は、裏磐梯では風景を乱さないように看板やお店の基調色にも指定されるほどで、「色」として気にとめない色かもしれません。

しかし、自然界の動物たちは、茶色い姿をしているものも多くいます。ガヤバツタ、マムシやヤマアカガエル、ウグイスやキビタキのメスなど、ノウサギやオコジョなど、多くの生き物が周りの大地やそこに生える木などの茶色にまぎれてみつけにくくなってしまいます。

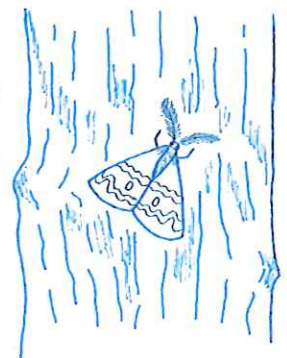
そんなことができるのも、茶色は自然界の景色の中でも最も多い色の一つだからではないでしょうか。



茶色の代表格は、樹木の幹や枝、枯草や枯葉、実、動物たちの糞、そして、土でしょうか。黄色や赤みがかったもの、灰色や緑色にちかいもの、ほとんど黒いもの、紫や青色に見えるもの、と、どれをとっても茶色はいろんな色に近い色だということに、驚きます。土は、生命の源でもありながら、生命が還っていく先でもあります。茶色とはいろんなものが入り混じってできる色で、いろんなものになる可能性を秘めている色なのかもしれません。

あなたは裏磐梯の景色の中に、どんな茶色をみるのでしょうか？

イラストに色をぬってみてね！
ほんものごと自分のイメージはぴったりでしょうか？



■ 日本の国立公園 ■

国立公園で働く方にその国立公園の魅力を訊きます

国立公園とは、日本を代表する自然の風景地を環境大臣が指定し、自然の保護や利用を図る地域のこと。日本には現在 30 の国立公園があり、裏磐梯は磐梯朝日国立公園に指定されています。



「伊勢志摩国立公園」

昭和 21 年 11 月 20 日指定 / 陸域面積 55,544ha / 海域 19,100ha / 三重県
伊勢志摩国立公園協会の事務局長 滋野 峻さんよりご紹介いただきます

伊勢志摩国立公園の沿岸部は、英虞湾、五ヶ所湾に代表される典型的なリアス式海岸です。また、内陸・海岸部の社寺有林には暖帯性の常緑広葉樹が茂り、海辺にはハマユウやハマナデシコなどの海浜植物がみられます。

一方、国立公園の96%が民有地であるため、人と自然のかかわりが多く、中でも古くからある「海女漁」と近年になって発明された「真珠養殖」などの独特の文化がはぐくまれています。

現在志摩半島には、およそ千人の海女が素潜りでアワビ、サザエなどを採って生業としていますが、自然の恵みに感謝しながら、漁業資源を採り尽くさないための様々な約束事を守っています。



英虞湾



↑ 内宮新ご正殿

また、伊勢神宮の宮域林が、特別保護地区に指定されている他、伊勢志摩には遺跡・伝説・民話・風俗・祭事などが数多く残っていて日本でも有数の歴史の古い地域であることも大きな特徴の一つと言えます。

そして、伊勢志摩の玄関口・鳥羽駅前には鳥羽ビジターセンターがあります。ここでは、広域のパンフレットを設置して、伊勢志摩の魅力を満喫していただくためのご案内と同時に



↑ 鳥羽ビジターセンター

展示コーナーでは、海女文化の紹介など時期に応じた展示も開催しています。

◆伊勢志摩国立公園協会 <http://www.ise-shima.or.jp>

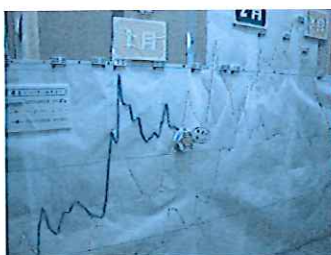
■ ようこそ！ビジターセンターへ ■

裏磐梯ビジターセンターの活動を紹介します

今年も「雪の記録」つけています！

ずんずん積もる雪、雪、雪。今年は雪の積もるタイミングが早くないかな？今日はどのくらい積もったかな？今年の雪は例年にくらべて多いのかな？など、雪の深さについて「？」と思ったら、こちらをご覧ください。

今年も「雪のきろく」を展示しています。



過去 2 年間と今年積もった雪の高さの日々の変化を等身のグラフにして掲載しています。

ぜひ、実物を見に来てください！

展示「冬 裏磐梯に暮らす鳥」

館内には、裏磐梯で暮らす鳥を季節ごとに紹介するコーナーがあります。そこに、裏磐梯ビジターセンターから一番近い沼、毘沙門沼周辺でみられた鳥や、裏磐梯全体でのその他の鳥情報がタイムリーに分かるように、掲示板を設けました。

地元の鳥好きの方の鳥情報、来館者の情報も掲載しています。

裏磐梯の鳥について
「こんな見たよ！」
「今はどんな鳥がみられるかな？」と思ったら、ぜひ、こちらを活用してみてください。



みなさんの鳥情報、お待ちしております！

裏磐梯ビジターセンター主催イベント

3月31日までの土日祝日開催

冬のイベント開催中!

※各プログラムの詳細やその他の開催日時にお気軽に電話でお問合せください

◆冬のわくわく散歩◆

雪の積もった毘沙門沼周辺をスノーシューで散策します。初めてスノーシューをする方にもおすすめです!

開催時間: 午前 10:00~11:30

所要時間: 約 90分

定員: 5名

参加費: 1,000円 (スノーシューレンタル代別途 500円)

申し込み: 事前に電話で申し込みいただくか、当日ご来館の上、申し込みください (先着順)



◆リス博士になろう!◆

リスがどんな生活をしているのを知っていますか? リスのポストカードやリスが作った不思議な形のおみやげ付きです。

開催時間: 午後 1:30~3:00

所要時間: 約 40分

定員: 8名

参加費: 500円



◆雪のシェリカを作ろう!◆

本物の雪の結晶を採取して閉じ込めキーホルダーを作ります。どんな結晶を見つけられるかな?

開催時間: 午後 1:30~3:00

所要時間: 約 40分

定員: 5名

参加費: 1,500円

※気温が-4℃以上の日は結晶の採取ができないためアイロンビーズの工作になる場合があります



◆雪のかんじきフ子体験◆

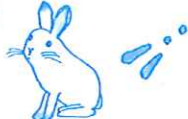
昔から雪国で使われてきた「和かんじき」を履いて、ビジターセンターの周りを歩いてみませんか?

開催時間: 午後 1:30~3:00

所要時間: 約 40分

定員: 4名

参加費: 300円



※野外プログラムに参加される方は雪遊びのできる服装でお越しください

裏磐梯ビジターセンター主催イベント

「第9回 学生研究発表会」 3月16日(日)

大学生が裏磐梯などの自然について調査研究した多分野の成果を発表します。どなたでも聴講できますのでぜひ、ご来場ください。

開催場所: 裏磐梯ビジターセンター

参加費: 無料

※詳細は2月中旬にウェブサイトでお知らせします



環境省 裏磐梯自然保護官事務所主催イベント

「冬のレンゲ沼・中瀬沼 スノーシューハイキング」 2月23日(日) 午前 9:30~12:30

定員: 15名 (先着順)

対象: 小学生以上 (小学生は保護者の同伴が必要です)

参加費: 100円 (別途スノーシューレンタル代 500円)

集合場所: 裏磐梯サイトステーション

申し込み: FAX (0241-32-3019) または、

E-mail (urabandaijp@yahoo.co.jp) で

事前に申し込みください。



「裏磐梯だより」について

■ ウェブサイトからもご覧いただけます!

年間6回(奇数月)の発行ごとに更新しますのでどうぞおたのしみに!

■ 総集編 vol.1~3 販売中!!

※各1冊 1,300円(税込) 裏磐梯ビジターセンターにて販売しています。

■ 郵送でお届けする定期購読も!

ご希望の場合は、ご住所とお名前を明記の上、80円切手6枚(1年間6回の送付分)を同封して、裏磐梯ビジターセンター宛にご郵送ください。



◇◇◇ビジターセンターの窓から◇◇◇

窓から見える風景は、真っ白です。やっぱり冬の裏磐梯はいいですね。(わっしー) アカマツってストイックだなあと、思います。いくら雪をかぶっても、うんしょ!と雪を払いのけて枝を持ち上げます。(くらら) 今年の桧原湖はワカサギが大漁です。がんばります!(なが)

朝、少し霧のかかった出勤路、霧氷のついた木々の景色が水墨画の

ようでとても綺麗で見とれてしまいます。(ひろ)



磐梯朝日国立公園

入館無料

裏磐梯ビジターセンター

開館時間 夏季(4月~11月)
午前9:00~午後5:00

❄️ 冬季(12月~3月)
午前9:00~午後4:00

休館日 毎週火曜日、年末年始
※火曜祝日の場合は開館し翌日休館

〒969-2701

福島県耶麻郡北塩原村大字桧原字剣ヶ峯 1093-697

TEL 0241-32-2850

FAX 0241-32-2851

ウェブサイト <http://www.urabandai-vc.jp>